

第1学年社会科学学習指導案

日 時 平成20年9月9日(火)

学 級 1年4組

(男子13名 女子17名 計30名)

授業者 佐々木孝之

(盛岡市立厨川中学校 教諭)

1 単元名 第2編 地域の規模に応じた調査 第1章 身近な地域の調査

2 単元について

(1) 教材について

生徒たちは、前単元「日本のすがたとさまざまな地域」の学習で、日本の位置と領域、都道府県の構成と地域区分を調べ、日本の地域構成をおおまかにとらえた。

本単元は、学習指導要領の(2)の地域の規模に応じた調査の「ア身近な地域」にあたる。ここでは、地理的事象を見だし、事象間の関連の発見過程を体験し、地理的な追究の面白さを実感させる体験的、作業的な学習をとおして、生徒が生活している地域に対する理解と関心を深めさせ、その発展に努力しようとする態度を育てること、地理的な見方や考え方の基礎を培うことの二つをねらいとしている。

「身近な地域の調査」の単元は、この大項目の最初の単元である。この後、「都道府県」「世界の国々」と続く地域の規模に応じた調査の導入的な役割を担う。そこで、地理的分野の大きな目標の一つである地域的特色をとらえる視点や方法という学び方を身につけさせたい。

(2) 生徒について

生徒たちは、小学校3・4年で、小学校社会科副読本「わたしたちの盛岡」を活用して、盛岡市についての学習をしてきている。ここでは、学区探検を行ったり、盛岡市全体の土地利用の様子を地図にまとめたりしてきた。しかし、盛岡市についての理解は、断片的あるいは単発的なとらえしかできていない生徒が多い。また、近年、玉山村と合併して新盛岡市が誕生したり、盛岡駅西口における大規模な都市開発事業が進められたり、「人が集まり・人にやさしい・世界に通ずる元気なまち盛岡」を目指す将来像を掲げ、変化してきている面もあり、盛岡市の全体像を多面的にはとらえきれない生徒も多い。

そこで、身近な地域である盛岡市は、地理的事象として興味を高められる題材であるといえるので、写真やグラフ、地形図などの資料を効果的に活用し、自分たちが住む盛岡市の特色について課題意識をもたせながら学習を進めていきたい。

生徒たちの社会科の学習に対する興味・関心は比較的高く、発言も行っている。また、地図帳や資料集などを活用しての調べ学習も指示にしたがって行う。しかし、読み取ったことを比較したり、関連付けたりする力や自分なりの見方や考え方を交流し合う力は不足している。どちらかというとなら日本や世界に見られる諸事象を位置や空間的な広がりとかかわり度で地理的事象として見出す「地理的な見方」は少しずつできてきているが、地理的事象がなぜそこでそのように見られるのか、そして、なぜそのように分布したり移り変わったりするのか、その背景や要因を追究したり、とらえたりする「地理的な考え方」はできていない。

(3) 指導について

本単元では、地形図や統計資料を活用すること、観察・調査に意欲的に取り組むことをねらいとした学習活動を行う。本時の学習においては、盛岡市の新旧の地形図を比較することで明らかになる地域の変容や特色を考える力、課題解決のために必要な資料を選択し、内容を正しく読み取る力を育てたい。また、地域の規模に応じた調査の導入ととらえ、本単元の学習をとおして、地域的特色を明らかにする視点や方法なども身に付けさせたい。

3 単元目標

- (1) 地図などから得られる情報から、自分の生活空間である地域の特色をとらえようとしている。 【 関心・意欲・態度 】
- (2) 身近な地域の諸事象を、地域の環境条件や他地域との結びつき、人間との営みとのかかわりから、多面的・多角的に考察している。 【 社会的思考・判断 】
- (3) 身近な地域の特色をとらえるために、景観の観察や地図、統計グラフの読み取りなどから得た情報を選択して、まとめている。 【 資料活用の技能・表現 】
- (4) 地図の約束について、その知識を身に付け、身近な地域における地形、気候、産業などについて、基本的知識を習得している。 【 知識・理解 】

4 単元の指導計画（9時間）

- (1) 身近な地域を見直そう…………… 1時間
- (2) 資料を使って見直そう…………… 1時間(本時)
- (3) 調査テーマを決めて見通しを立てよう…………… 2時間
- (4) いろいろな方法で調べよう…………… 3時間
- (5) 調査結果を整理・分析してまとめよう…………… 1時間
- (6) 分かりやすい発表をして学び合おう…………… 1時間

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- ① 地域の特色や変化している点に注目し、地形図等の活用をとおして読み取った事実からその要因や背景を考える。 【 思考・判断 】
- ② 新旧の地形図や写真、統計資料を比較し、必要な情報を読み取る。 【 技能・表現 】

(2) 本時の指導構想

本時は、「身近な地域の調査」の学習の導入の時間である。そこで、新旧の地形図や空中写真を活用して、私たちの住んでいる地域がどのような特色をもったり、変化したりしているか、関心をもち、調べてみようとする意欲をもたせたい。

また、生徒は、身近な地域の特色や変化を断片的、単発的にとらえているので、特色や変化を人間の営みや住民の暮らしにとってどんな意味があるのかを考察させることによって、地理的な見方や考え方を育てたい。さらに、グループでの作業や話し合いをとおして、地形図を活用する力と、読図の楽しさを味わわせたい。そして、地図の活用をとおし、身近な地域の地理的特色や変化をとらえさせ、他の地域を含む地理的事象への関心を高めたい。最後に、町づくりが、住民参加のもと計画的に行われていることを紹介し、町づくりへの参画意識を高めたい。

(3) 評価

	評価規準	具体の評価規準A	具体の評価規準B	未達成の場合の手立て
評価1	地域の特色や変化している点に注目し、地形図等の活用を通して読み取った事実からその要因や背景を考える。	地域の特色を人間の営みや地域の課題とのかかわりに着目してとらえている。	地域が変化した理由を人間の営みとのかかわりから考えることができる。	新しくできたものが、住民にとってどんな意味があるのかを考えさせる。
評価2	新旧の地形図や写真、統計資料を比較し、必要な情報を読み取る。	縮尺の大きな地形図を活用し、土地利用、地形、地域変化を読み取り、地理的事象として見いだすことができる。	縮尺の大きな地形図を活用し、土地利用、地形、地域変化を読み取っている。	地形図のどこを見ればよいか、身近な建物や道路などを確認させる。

(4) 展開

段階	学習内容と学習活動	指導上の留意点	資料
問題の把握 5分	1 前時の復習をする。 2 新旧の空中写真を比較して、変わったところを出し合う。 3 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 私たちの住む地域は、どのように変化したのだろうか。 </div>	1 地形図の約束事を確認する。 2 地域の変化に気付かせ興味をもたせる。 3 本時の課題を全員で確認し、記入させる。	カード 新旧の空中写真 紙板書
問題の追及 40分	4 地形図を見比べて見ることの必要に気付く。 5 新旧の地形図を比べる。 (1)個人で記入し、全体で交流する ・イオン ・高速道路 ・河川 ・インターチェンジ ・新幹線 ・西バイパス ・橋 ・警察署 ・消防署 ・水田 ・果樹園 ・宅地 (2)地形図全体から読み取った事実を全体でグループ化する。 ・商業に関わる施設 ・生活に関わる施設 ・河川や道路の施設 6 読み取った事実を生活と結び付けて考える。 ○班毎にテーマを分担し、班で話し合う。 ・買い物が便利になった。 ・既存商店街が停滞、低下した。 ・暮らしが便利になった。 ・人間関係が薄くなった。 ・公共施設が不足している。 ・安全、安心に暮らせるようになった。 ・水害の心配がなくなった。 ・交通が便利になった。 ・通勤が便利になった。 ・迷路のような道路がある。 ・交通渋滞が激しい。 ・川への不法投棄がある。	4 調べるためには、何が必要か考えさせる。 5 新旧の地形図を比べて気付いたことを書き出させる。 ◇評価2【学習シート】 (1)読み取りできない生徒には、身近な建物や道路などの位置を確認させ、変化に気付かせる。 ・新しくできたものを現在の地図に着色させる。 ・全体で確認させる。 ・分布が変化しているものを確認させる (2)様々な項目をできるだけグループ化させる。 6 自分たちの生活にどのような影響を与えたかを考えさせる。 ◇評価1【学習シート】 ○話し合いの手順を確認する。 ・最初に自分の考えを記入する。 ・班長が司会をする。 ・交流シートに記入する人を決める。 ・班員一人一人が自分の考えを発表する。 ・班でまとめて班長が代表者として発表する。 ○より暮らしやすくなったことなどを確認させる。 ・生活が便利になったこと。 ・生活環境が整い快適な生活になったこと。 ○課題があることにも気付かせる。 ・地域のみんが使いやすい身近な道路が必要なこと。	昭和44年と平成18年の1/2.5万の地形図 紙板書 学習シート 交流シート 人口世帯数の推移・交通量の変化

		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民の連帯や協力が必要なこと ・地元商店街が元気な町作りが必要であること。 	
まとめ 5分	<p>7 地域の変化についてまとめる。</p> <p>8 都市計画マスタープランを知り町づくりへの参画意識を高める。</p> <p>9 次時の予告。</p>	<p>7 自分のことばでまとめさせる。</p> <p>8 町づくりが計画的に行われていること、プランづくりに参画できることを知らせる。</p> <p>9 次時は地形図を見比べて分かったことから調べたいテーマを自分たちで設定することを知らせる。</p>	学習シート 都市計画マスタープラン